

平成21年度 赤平市決算報告

一般会計 の状況

平成21年度各会計の決算について、平成22年9月に開かれた赤平市議会第3回定例会で認定されました。平成21年度の市の財政運営は、「赤平市財政健全化計画(改訂版)」に基づき行財政改革を推進するとともに、一方では厳しい経済・雇用情勢に対応するため「緊急雇用創出推進費」の創設、国の経済対策に係る各種交付金等を活用した公共事業を実施するなど、地域経済の活性化に努めてまいりました。

歳入では、市税が10億円を割り対前年度比で5.5%の減となりましたが、地方交付税の普通交付税では「地域雇用創出推進費」の創出や特別交付税で人口急減補正の算定が導入されたことなどから、臨時財政対策債を含めた地方交付税総額としては4.6%の増となりました。

歳出では、更なる財政の健全化に向けて人件費の独自削減を継続し、市長をはじめとする特別職、一般職について給与等の削減を行いました。また、景気後退下の住民に対する生活支援や地域経済対策における国の交付金事業として「定額給付金給付事業」「子育て応援特別手当給付事業」を実施しました。この他、普通建設事業費は、国の経済対策交付金などを活用し、医師住宅等環境整備事業、低公害車導入事業、市道街路灯省エネ電球交換事業、地域住宅交付金事業などの実施により対前年度比で45.5%の増となりました。

歳入総額 99億1,550万円－歳出総額 95億9,110万円＝差引額 3億2,440万円





市債の状況

一般会計	90億 4,767万円
特別会計	55億 2,605万円
公営企業会計	48億 800万円
合 計	193億 8,172万円

(平成21年度末現在未償還元金)

※今後償還(返済)しなければならない借入金の残額

企業会計の状況

病院事業会計では、内科医の増により内科外来の午後診療を再開したことや、透析患者数の増などにより、外来患者並びに入院患者ともに前年度を上回りました。さらには、人件費の独自削減の継続や一般会計からの不良債務解消のための繰出しにより当期純利益を計上し、不良債務額は約9億7千万円となりました。

■ ■ 病院事業会計 ■ ■

1. 損益計算書

	金 額		金 額
医 業 費 用	20億1,668万円	医 業 収 益	19億 758万円
医業外費用	1億5,670万円	医業外収益	1億7,923万円
特別損失	1,105万円	特別利益	6億5,310万円
計	21億8,443万円	計	27億3,991万円

当年度純利益 5億5,548万円

2. 貸借対照表

	金 額		金 額
(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	35億5,849万円	固定負債	11億8,886万円
流動資産	3億 785万円	流動負債	12億8,078万円
		(資本の部)	
		資 本 金	38億7,657万円
		剰 余 金	△24億7,987万円
計	38億6,634万円	計	38億6,634万円

3. 患 者 数

- ・外 来 延 10万 151人(1日平均 414人)
- ・入 院 延 4万6,542人(1日平均 128人)

■ ■ 水道事業会計 ■ ■

1. 損益計算書

	金 額		金 額
営 業 費 用	2億2,919万円	営 業 収 益	3億 716万円
営業外費用	3,170万円	営業外収益	1,457万円
特別損失	175万円	特別利益	0万円
計	2億6,264万円	計	3億2,173万円

当年度純利益 5,909万円

2. 貸借対照表

	金 額		金 額
(資産の部)		(負債の部)	
固定資産	25億6,083万円	固定負債	174万円
流動資産	1億1,573万円	流動負債	765万円
		(資本の部)	
		資 本 金	13億6,884万円
		剰 余 金	12億9,833万円
計	26億7,656万円	計	26億7,656万円

世帯・個人当たりの状況

世帯数…6,844世帯 人 口…1万2,877人
(平成22年3月31日現在)

一世帯
140,112円

市税の
負担額

市民一人
74,468円

一世帯
1,401,389円

決算額
(費用)

市民一人
744,824円

平成21年度の主な事業

- ①地域住宅交付金事業
(茂尻団地実施設計など)
- ②医師住宅等環境整備事業
- ③学校情報通信技術環境整備事業
- ④道路新設改良事業(市道4路線)
- ⑤市民プール新設事業(～22年度)
- ⑥児童公園整備事業
- ⑦市内公共施設水洗化等整備事業
- ⑧定額給付金給付事業
- ⑨子育て応援特別手当給付事業
- ⑩公共下水道事業



特別会計の状況

国民健康保険特別会計は、一般会計から赤字解消のための繰出しなどにより、累積赤字を全額解消しました。

◎国民健康保険特別会計

歳 入	25億5,435万円
歳 出	24億6,923万円
差引残額	8,512万円

◎老人保健特別会計

歳 入	3,616万円
歳 出	3,457万円
差引残額	159万円

◎後期高齢者医療特別会計

歳 入	2億1,330万円
歳 出	2億1,098万円
差引残額	232万円

◎土地造成事業特別会計

歳 入	45万円
歳 出	34万円
差引残額	11万円

◎下水道事業特別会計

歳 入	8億3,480万円
歳 出	8億3,177万円
差引残額	303万円

◎霊園特別会計

歳 入	785万円
歳 出	543万円
差引残額	242万円

◎用地取得特別会計

歳 入	7,416万円
歳 出	7,415万円
差引残額	1万円

◎介護サービス事業特別会計

歳 入	2億8,285万円
歳 出	2億7,302万円
差引残額	983万円

◎介護保険特別会計

歳 入	12億4,590万円
歳 出	11億9,241万円
差引残額	5,349万円